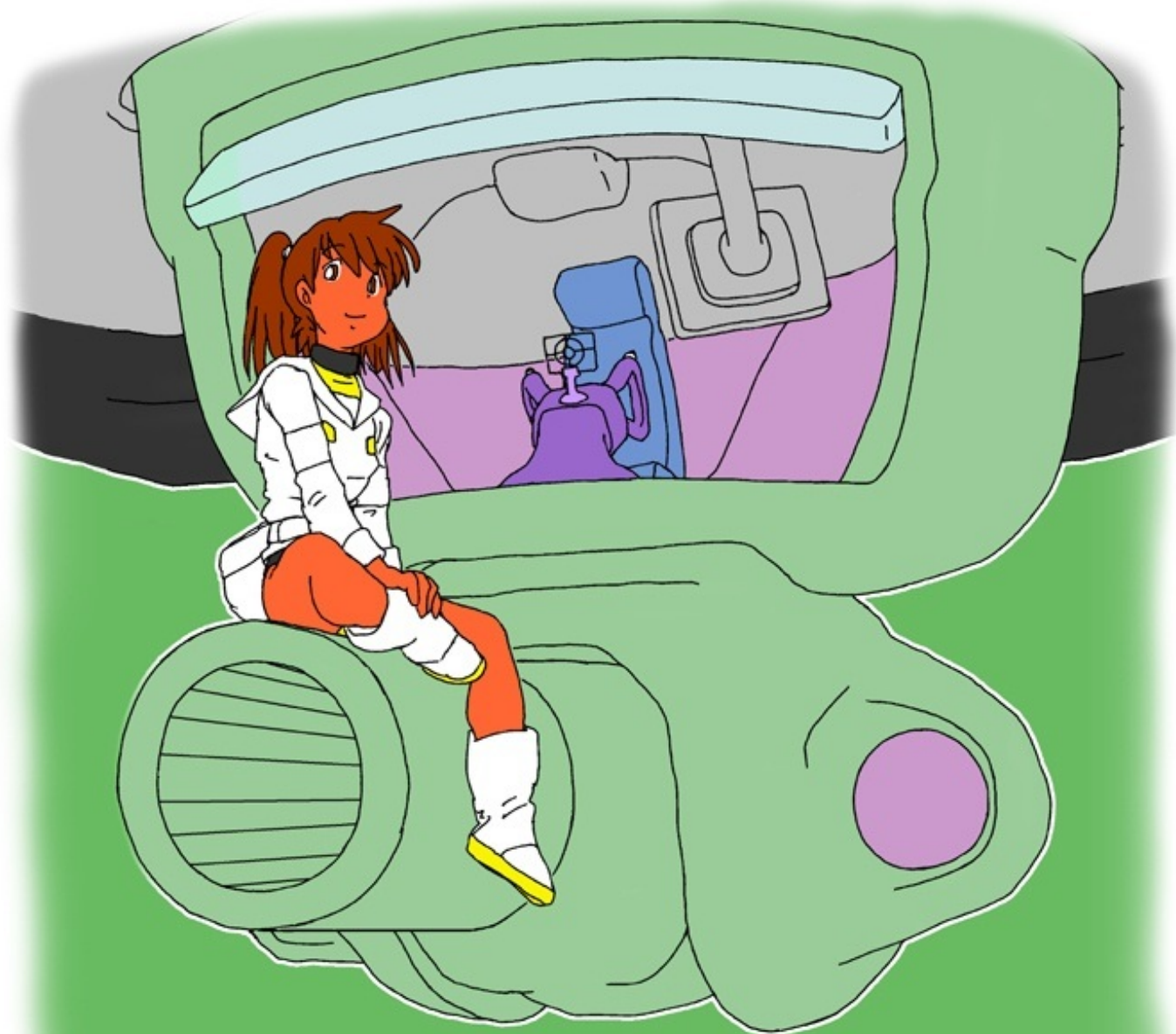


# FLOATOPIA

フロートピア

ACT 2

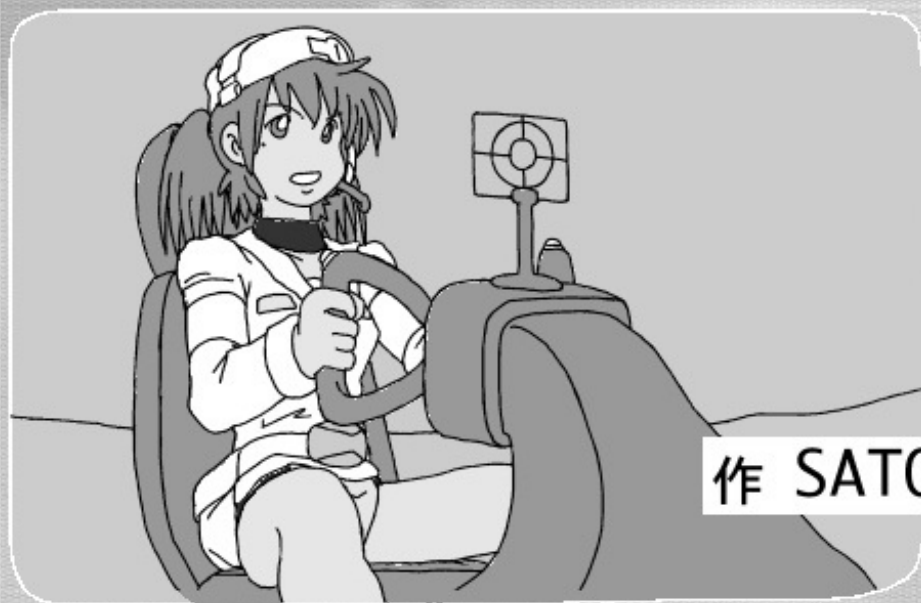
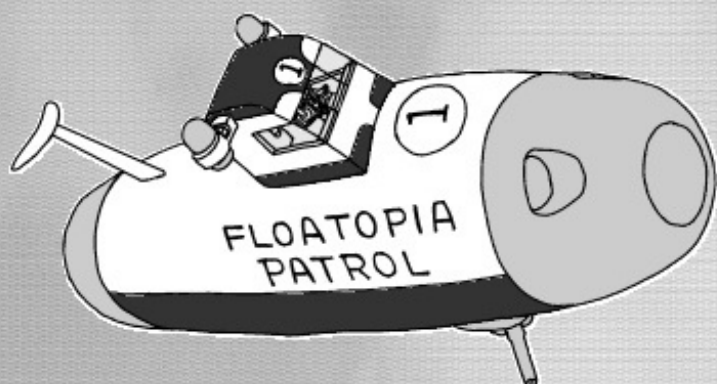


作 SATOTOMO

# FLOATOPIA

フロートピア

ACT 2



作 SATOTOMO

1号島内  
会議室

今こそ、多国籍連合で  
組織したトロイダル軍を  
出撃させる時です

いや、今は全面的に  
デストリア軍の要求を  
呑むべきだと思います

賊どもが  
人質を解放するとは思えませんが

君のやり方は  
賊どもを刺激する  
だけだ

とにかく  
人質を無事に  
取り戻すことが  
第一ですぞ

アメとムチを  
うまく使い分ける  
必要がある

駆引きの主導権を  
我々の方に  
引込みたいですな





とにかく一度  
交渉の機会を  
ください

何とか  
各国要人の方々を  
人質交換してでも  
救い出せれば



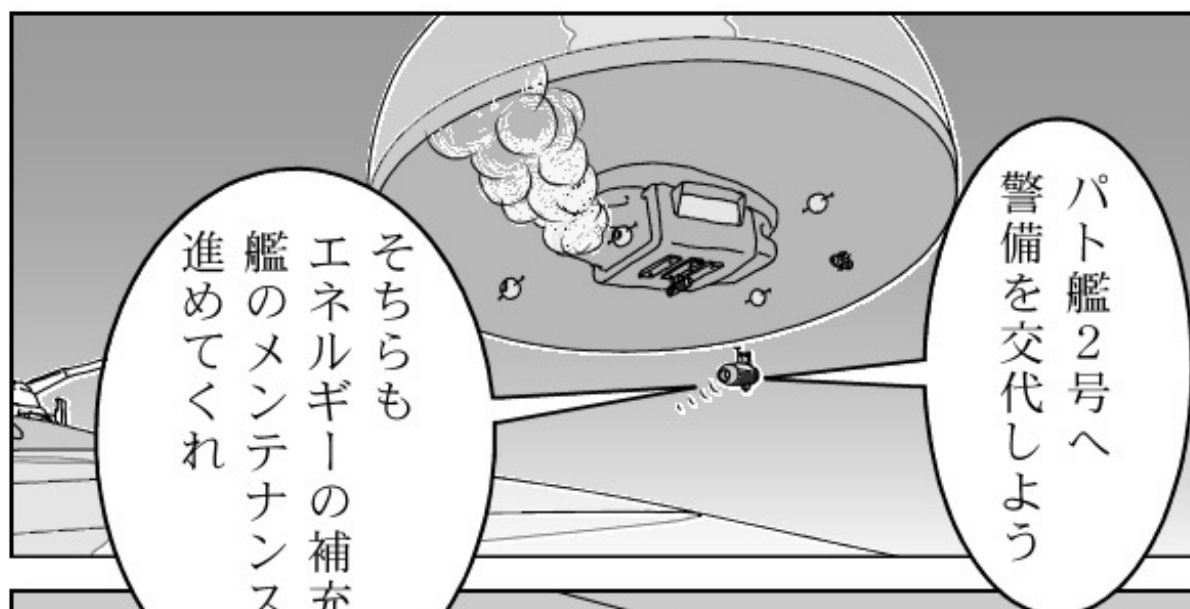
トロイダル部隊の  
出撃も進めておいて  
もらえませんか

でないと  
助けられる命も  
助からないことに



わかりました  
一度だけ交渉を  
してみましよう

無駄だとは  
思いますけどね



パト艦2号へ  
警備を交代しよう

そちらも  
エネルギーの補充や  
艦のメンテナンスを  
進めてくれ



こちらはシーラ  
ジョセフ艦長  
ありがとう

今の処、敵に  
目立った動きは  
ありません

しばらく  
警備の方を  
お願いします



ポートブロックの  
側面窓に寄せて  
内部の状況を  
確認する

敵の反抗が  
あるかもしれませ  
ん  
注意してください



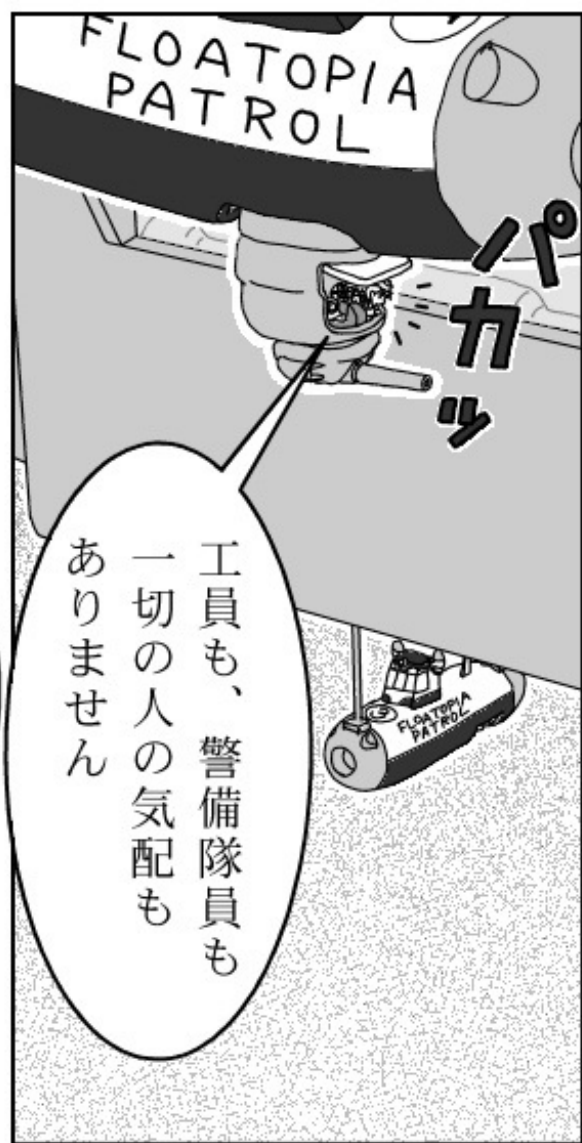
管制室は  
ここから見るに  
完全に賊の手に  
落ちているようだ

人質にされた人達も  
ここに集められている

人質の顔ぶれは  
管制用員と各国要人  
だけの様だ

この分だと  
上部ドームの  
セントラルタワーは  
無事なのだろう















すいません

偵察の為とはいえ  
不用意に敵に  
近づきすぎまして  
相手を刺激して  
しまいました



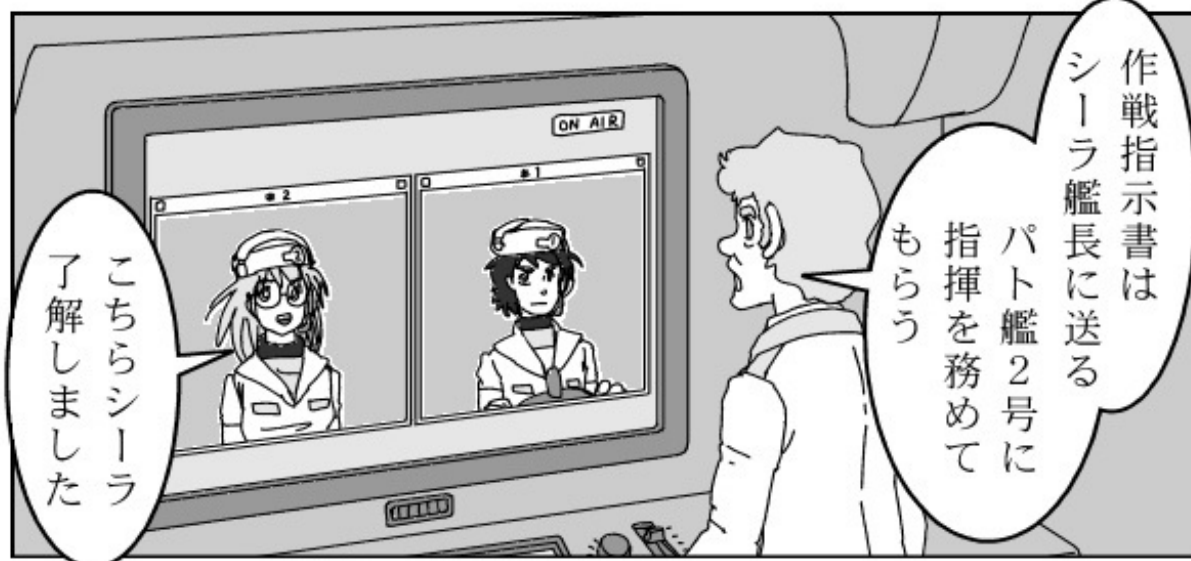
DESTORIAが  
ならず者国家で  
名を馳せていること

君も知って  
いるだろう  
気をつけて  
くれ



それから、  
パトロール隊員各位に  
賊への対応についての  
指令部としての  
決定方針を伝える

現在  
人質になっている  
同盟各国の要人を  
警備隊員数名と  
交換できないか  
交渉することを  
計画中だ



作戦指示書は  
シーラ艦長に送る

パト艦2号に  
指揮を務めて  
もらう

こちらシーラ  
了解しました



現在1号艦は無人口ボの  
攻撃を受けています

こちらの状況が  
落ち着きましたら  
作戦の詳細を  
問い合わせ致します

よろしく  
お願いします

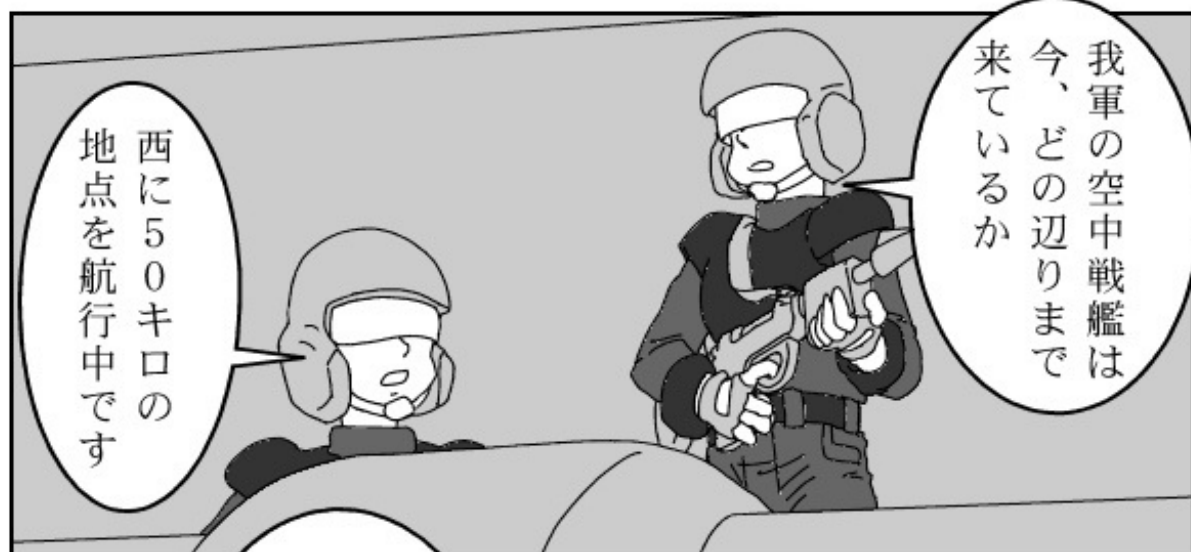


お前達の交信は  
筒抜けなんだよ

人質交換だと？

我々を  
賊呼ばわり  
するとは

どちらに  
主導権があるのか  
判ってない様だな



空中戦艦  
ブリッジ

直撃を避けての  
威嚇砲撃のお願い  
ですので  
問題ありません

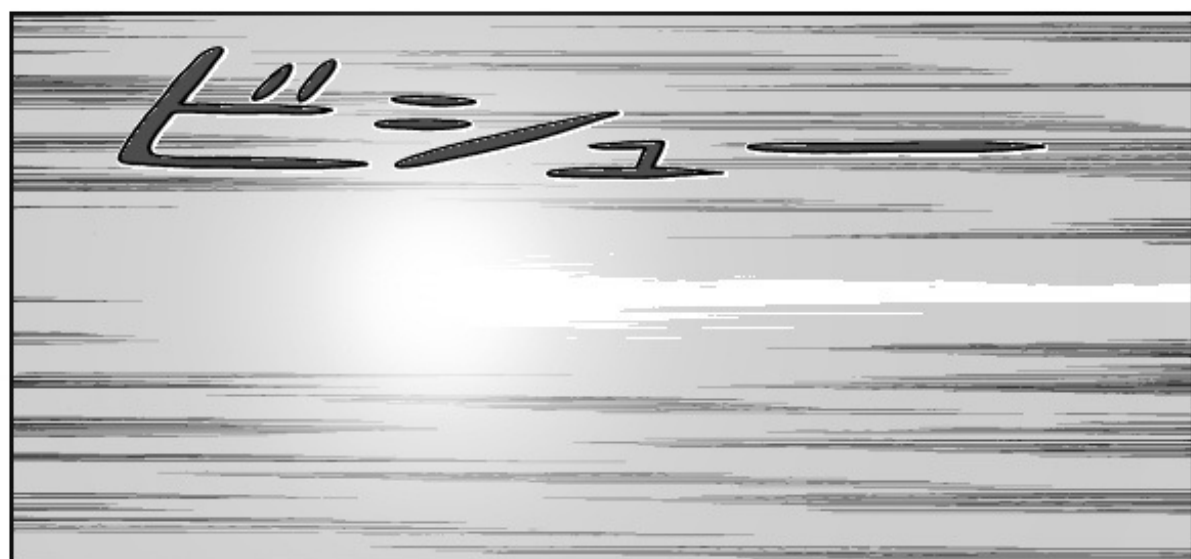
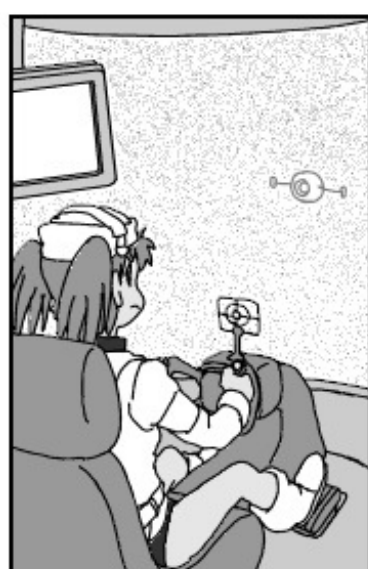
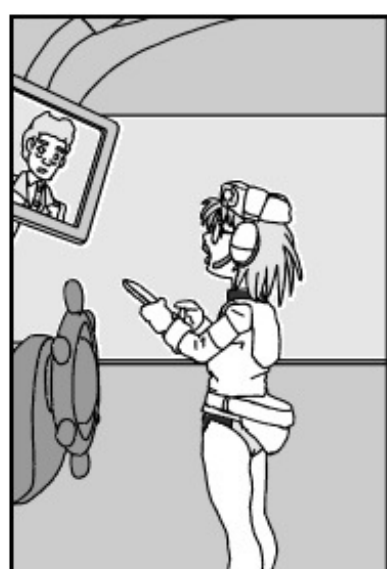
この距離から  
ビーム砲を  
撃てだど？

遠方からの攻撃は  
威力が落ちるが  
よろしいか？

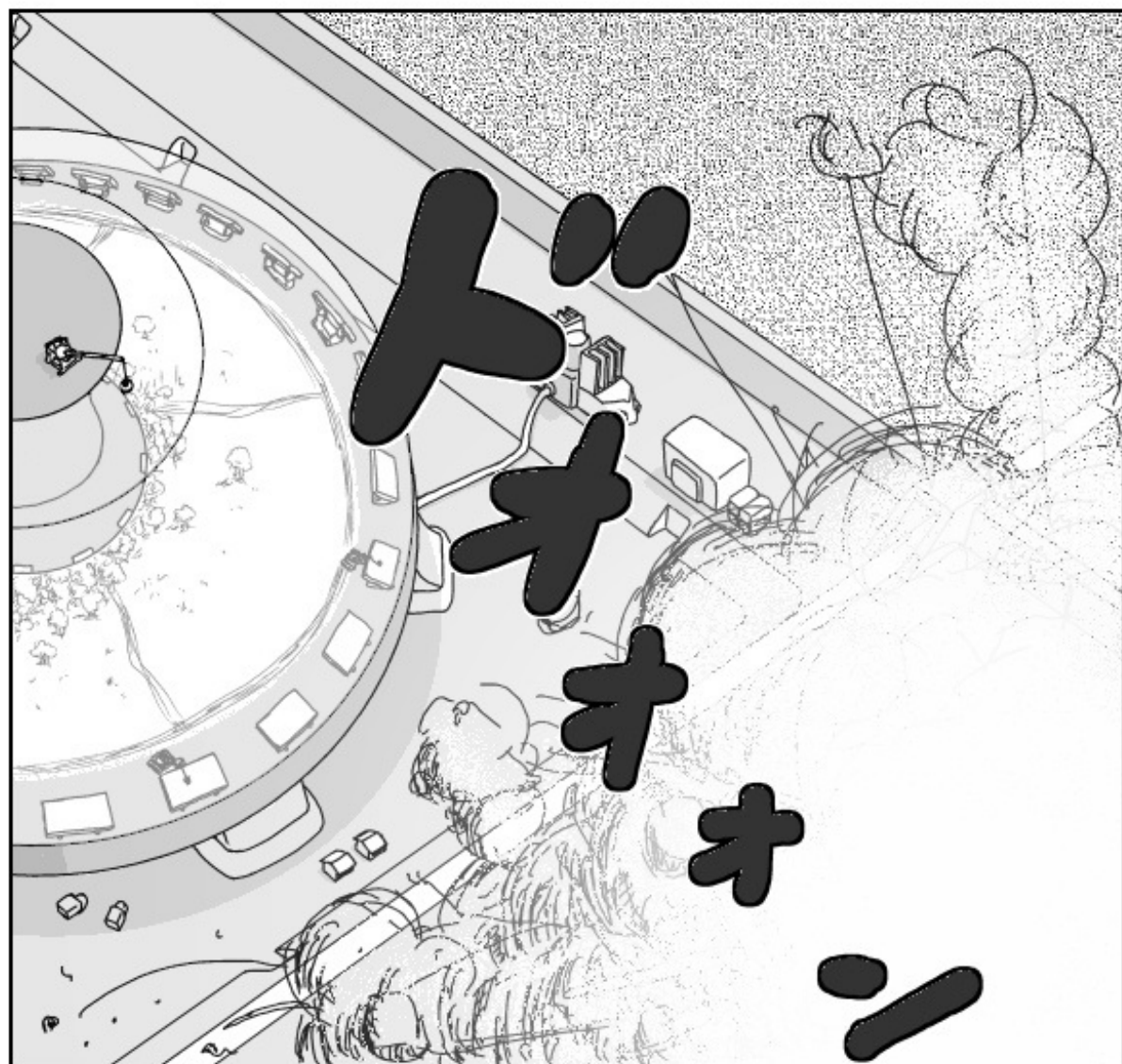
発射準備は完了  
しています

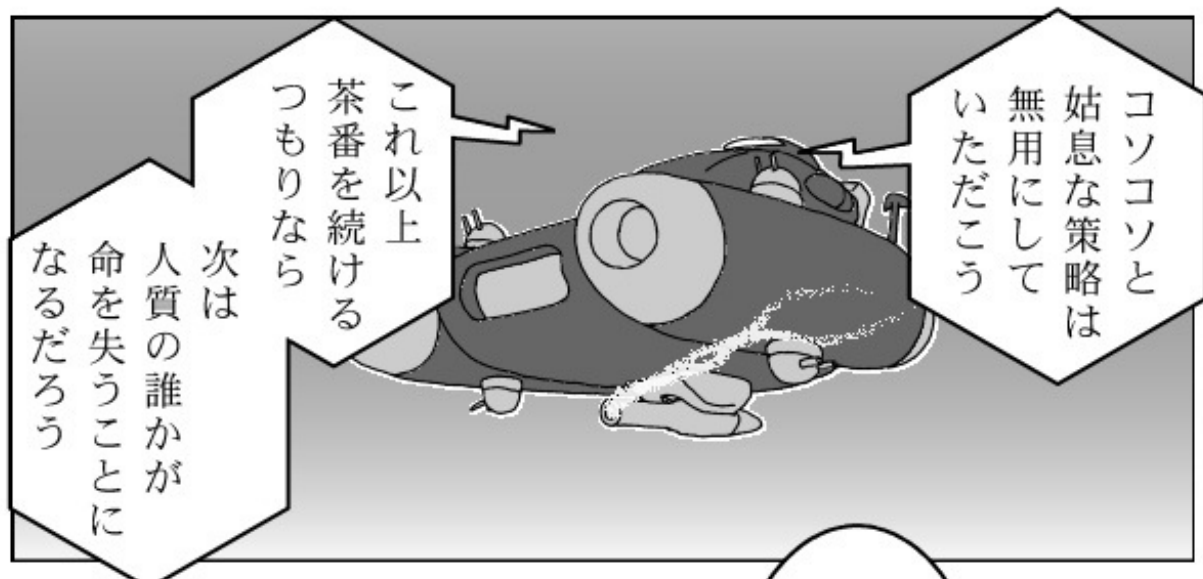
よし、発射の  
カウントダウンを  
開始する

先攻している兵士は  
着弾時の衝撃に  
備えるように！









ACT3へつづく・・・

## FLOATOPIA ACT2

作者 SATOTOMO

E-mail [BXJ05041@nifty.com](mailto:BXJ05041@nifty.com)

URL <http://satotomo.la.coocan.jp>

2013年11月16日

本書の一部または全部を無断で  
複製することは禁止します。

## FLOATOPIA ACT2

<http://p.booklog.jp/book/79206>

著者 : SATOTOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/satotomoyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/79206>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/79206>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブクログ